

2021年度
明治大学政治経済学部
グローバル型特別入学試験

総合（日本語）問題

（注意）

1. 問題は設問1～設問3の3問で、計4ページあります。
2. 解答はすべて別紙「解答用紙」に記入して下さい。
3. 受験学科、氏名を「解答用紙」の所定欄に記入して下さい。
4. 試験時間は90分です。

※ この問題用紙は必ず持ち帰ること。

設問 以下の文章を読み、設問1～3に答えよ。

21世紀に入ると、グローバル化が大きく進行したとあってよい。その結果、新興国の経済成長、生活水準の向上などに表れる“功”の面も多々みられた。しかしながら、2020年における新型コロナ・ウィルス（以下、COVID-19と記す）の拡大は、グローバル社会の脆さを顕在化させるとともに、国による対応の違いや感染拡大の度合いの違いに対しても関心が向けられることとなった。国による対応の違いという点に関しては、政治の対応、とりわけ政治リーダーの役割の大きさを改めて認識させられた。

世界の主要な政治リーダーで医療従事者としての経歴を有する人はほとんどおらず、いわば医療に関する“素人”が政治的決断を行わざるを得ないという状況下に置かれた。けれども、このような状況はいわば通常の状態と言えるだろう。民主国家で政治家になるには選挙で当選することのみをその要件とすることが大半であり、資格や経歴による参政権の制限がないことが民主的とされている。それとともに、専門家のあいだでも見解が分かれることも少なくなく、不確実な情報のもとで判断しなければならないという苦境にも立たされた。

政治の難しさは、様々な要素を総合的に考え、政策的判断を下さなければならない、という点にある。日本の場合、2020年3月ごろから、感染拡大が認められ、専門家から感染爆発の懸念だけでなく、医療崩壊の懸念も声高に叫ばれるようになり、外国からの入国制限・禁止や国内での様々な活動自粛・制限が求められるようになった。しかし、他方では活動自粛による弊害の大きさも問題視された。例えば、経済活動の制限や自粛による経済面に対する負の影響や、学校の休校による教育面での障害などが指摘されるようになる。

なかでも、政治リーダーは感染防止優先か経済優先かという優先順位の決定に悩まされた。また、国家レベルでの政治リーダーだけでなく、地方レベルのリーダーである知事の実感も目立った。同じ国のなかでも地域により感染状況に大きな違いがみられ、それぞれの地域のリーダーの判断の重要性が増したからである。そして、知事（日本の場合は都道府県知事、アメリカの場合は州知事）と、中央政府とが対立する場面もしばしばみられた。

それとともに様々な面での“格差”もキーワードになったといえる。アメリカなどで指摘されたのは、貧困層は富裕層や中間層に比べて感染率や感染による死亡率が高いという現実であった。これは貧困層の多くは劣悪な住環境の中で、人と人との密度が高いために感染リスクが高く、また、経済的理由により医療サービスをなかなか受けることが難しいことがそのような帰結をもたらしたとされている。この点について日本ではそのような指摘がみられないが、そのことが格差の不在を意味しているのではなく、主として医療制度や医療環境によるものと考えた方が良さそうである。

表1は、WHO（世界保健機関）のホームページ上に掲載されているデータをもとに作成したもので、地域別および世界全体のCOVID-19の新規感染者数の推移を示す。ここで

GLOBALの欄は世界全体の感染者数を示し、2月終盤の週には1万人足らずであったのが、6月終盤の週には100万人を超えていることがわかる。表2には地域別および世界全体のCOVID-19による死者数の推移を示す。世界全体では3月以降に死者数が大きく増加していることがわかる。

COVID-19の拡大は国や地域による文化の違いにも目を向けさせた。人と人とが会った時に握手やハグなどで直接に肌が触れ合うことの多い文化を有する国や地域と日本のお辞儀文化のように一定の距離を置く文化の違い。また、国民が、政府からの指示に対して従順に従う国民性とそうではない国民性の違いなどの指摘も相次いだ。

しかし、国や地域による感染拡大や致死率の違いなど、COVID-19に関する説明のなかにはスペキュレーション (speculation) に過ぎないものも少なくない。スペキュレーションという単語の意味として「〈不確かな情報に基づく〉推論、憶測」という意味がある。混乱期には人々も「原因はこれだ」という説に飛びつきやすいが、多くはあくまで「仮説」の域を出ていないことを心に留めておく必要がある。

このように、COVID-19感染拡大といった危機は、グローバル社会の脆さを露呈したばかりでなく、政治や格差、文化、そして情報の錯綜、など各国や各地域、そしてグローバル社会が抱えている様々な問題にも目を向けさせることとなった。

設問1 問題文を要約しなさい。(200字以内)

設問2 表1および表2に示されるデータから読み取れることについて説明しなさい。(300字以内)

設問3 グローバル化の功罪について考え、あなたの見方を述べなさい。(500字以内)

表1 1週間当たりの COVID-19 新規感染者数の推移(単位：人)

WHO による地域区分	1月27日	2月24日	3月30日	4月27日	5月25日	6月29日
アメリカ地域	6	42	194,916	289,795	399,480	763,982
ヨーロッパ地域	22	1,986	259,504	189,908	134,693	110,537
南・東アジア地域	17	7	4,277	20,479	69,943	182,737
地中海東部地域	5	685	27,170	40,635	89,195	128,935
アフリカ地域	0	2	3,372	9,121	23,315	77,851
太平洋西部地域	12,488	6,181	8,608	8,804	8,935	10,883
世界全体	12,538	8,908	497,847	558,742	725,561	1,274,925

(注) WHO ホームページから (2020年7月30日閲覧)

アメリカ地域：北米、中米、南米

南・東アジア地域：インド、インドネシア、タイ、バングラデシュ、など

地中海東部地域：イラン、サウジアラビア、エジプト、イラク、パキスタン、など

太平洋西部地域：中国、日本、韓国、オーストラリア、マレーシア、など

表2 1週間あたり COVID-19 による死者数の推移（単位：人）

WHO による地域区分	1月27日	2月24日	3月30日	4月27日	5月25日	6月29日
アメリカ地域			6,254	22,482	18,807	20,607
ヨーロッパ地域		34	25,517	15,910	6,061	3,307
地中海東部地域		1	160	616	1,716	3,852
南・東アジア地域		35	1,158	983	1,365	3,625
アフリカ地域			183	225	481	961
太平洋西部地域	249	450	212	286	172	61
世界全体	249	523	33,485	40,502	28,602	32,413

（注）WHO ホームページから（2020年7月30日閲覧）

2021年度明治大学政治経済学部グローバル型特別入学試験

総合（日本語）問題 訂正

(1)

2 ページ 上 から 1 行目

(誤) GLOBAL の欄は世界全体の感染者数を示し

(正) 世界全体の欄の感染者数を見ると

(2)

4 ページ 表 2

(誤) 地中海東部地域

(正) 南・東アジア地域

(3)

4 ページ 表 2

(誤) 南・東アジア地域

(正) 地中海東部地域